

講義要項(シラバス)

科目名	実習Ⅰ(Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ)	授業方法	実習	
担当教員名	三輪早和子・渡辺愛	必修・選択	必修	単位数 8単位
学科	介護福祉科	学年・時期	回数	32回
担当教員の 実務経験	三輪早和子・・・介護福祉士養成校専任教員5年以上 介護福祉士として10年以上 渡辺愛・・・介護福祉士として5年以上			
授業の目的及びねらい ・地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的な能力を修得する学習とする。 ・本人の望む生活の実現に向けて、他職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。				
授業終了時の到達目標 ・介護過程の展開を通して対象者を理解し、本人主体の生活と自立を支援するために実践的に学ぶ。 ・他職種との協働の中で、介護福祉士としての役割を理解し、他職種の連携やチームケアを体験的に学ぶ。 ・地域での生活を支える施設・機関の役割を理解し、生活支援を実践的に学ぶ。				
回数	各回のテーマ・内容			授業以外の事前準備学習内容
1	実習前オリエンテーション/実習施設の理解			必要に応じて適宜指示を出す。
2	・施設概念・役割の理解・利用者の生活環境への把握 ・介護職の一日の流れを理解する。			
3	利用者理解			
4	・利用者の生活状況を知る。 ・コミュニケーションの実施			
5	・利用者の様子を観察し見守る。 ・基本的な介護の見学・実施			
6	・利用者の表情、声かけへの反応を観察する。			
7	・利用者の気持ちを考えて接する。			
8	・チームケアの必要性を学ぶ			
9	・介護福祉士としての役割を知る。			
10	・その人らしさに気づき理解する。			
11	・実習の目標設定 ・実習日誌への書き方を学ぶ。			
12	・安全・安楽への配慮や気づき			
13	・カンファレンスの進め方・記録に記入する。			
14	・他職種の仕事の内容を学ぶ。			
15	・実習の振り返りをする。			

16	実習前オリエンテーション/実習施設の理解	必要に応じて適宜指示を出す。	
17	・施設の概念・役割の理解・利用者の生活環境への把握 ・職員の業務内容の理解		
18	利用者理解		
19	・利用者の生活状況を知る。・コミュニケーションの実施		
20	・利用者の様子を観察し見守る。・基本的な介護の見学・実施		
21	・実習の目標設定・実習日誌への記入		
22	・安全・安楽への配慮や気づき		
23	・チームケアの必要性を学ぶ		
24	・介護福祉士としての役割を知る。		
25	・その人らしさに気づき理解する。		
26	・カンファレンスの進め方・記録に記入する。		
27	・基本的な介護の修得 食事・排泄・入浴・着替え・移乗・歩行介助やベットメイキングの方法を学ぶ		
28	・自立支援を実践的に学ぶ。		
29	・個別ケアの必要性や方法を学ぶ。		
30	・実習の振り返りをする。		
成績評価の方法			
実習指導者による評価50% 学内での評価50% 総合的に判断し評価する。			
使用テキスト・参考書等			
最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」第2版 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規出版			
授業に関する特記事項(携帯電話の取り扱いや授業内のルール等)			
実習要項や実習施設のルールを守り、真剣な態度で取り組む。分からないことがあれば実習指導者に質問し、勝手な行動はしない。			